町田小学校内装木質化

令和６年度　学校木の空間づくり事業

小田原市農政課

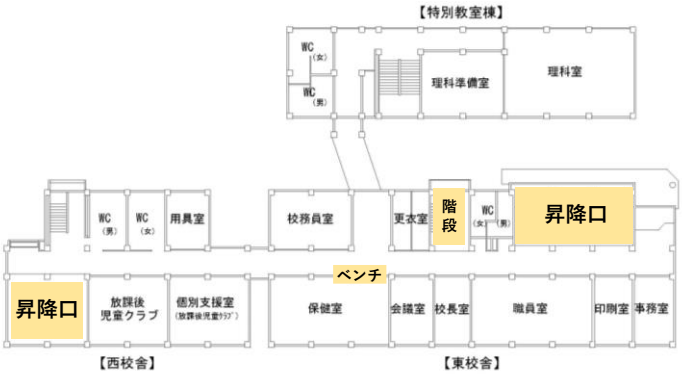
事業概要

所在地	神奈川県小田原市寿町2-7-25
構造	鉄筋コンクリート造・4階
工事種別	内装木質化改修
施工期間	令和6年7月～9月
事業費	約2,900万円
木材使用量 （小田原産木材）	スギ　18.3㎥ ヒノキ　9.2㎥
建築年・児童数	1967年・268名（令和6年度）

事業主体	小田原市農政課
木材生産	小田原市森林組合
製材	小田原地区木材業協同組合
設計	小田原市建築課、小田原市建築事業協同組合
施工	小田原市建築事業協同組合 （株式会社五神建設・有限会社大島工務店）
室名サイン製作	一般社団法人箱根物産連合会（いぶき会）
まなびパネルイラスト	園内せな

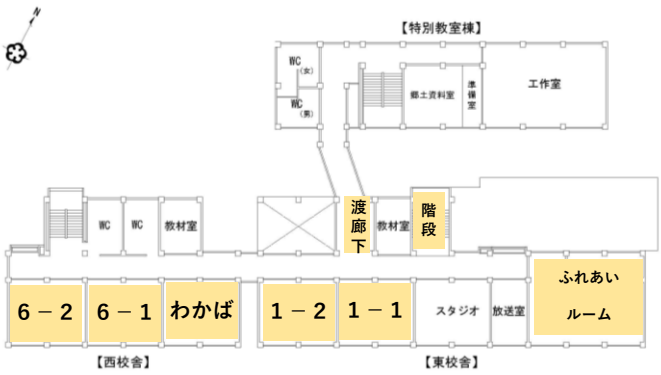
木質化対象箇所

1階



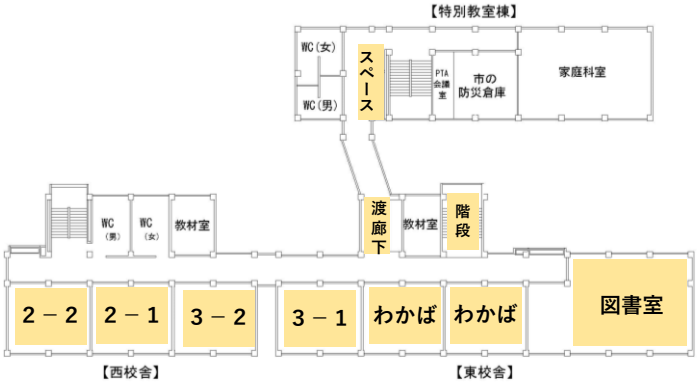
［1階木質化改修範囲図］　S=1/250

2階



［2階木質化改修範囲図］　S=1/300

3階

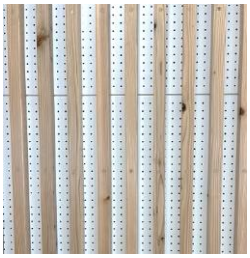


［3階木質化改修範囲図］　S=1/300

4階

［4階木質化改修範囲図］　S=1/300

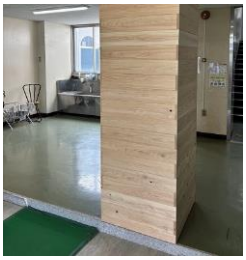
木質化メニュー


ルーバー張り
（スギ）

腰壁板張り
（スギ：縦）

腰壁板張り
（ヒノキ：斜め）

柱板張り
（スギ：縦）


柱板張り
（ヒノキ：横）

梁板張り
（スギ：縦）

梁板張り
（ヒノキ：横）

階段板張り
（ヒノキ：腰壁）

フローリング
磨き上げ・塗装

電源枠取り
（スギ）

靴箱板張り
（ヒノキ）

引き戸
（ヒノキ）

幅広ベンチ
（ヒノキ）

小上がり
（ヒノキ）

図書カウンター
（ヒノキ）

ベンチ
（ヒノキ）

幅広低机
（ヒノキ）

スツール
（ヒノキ）

じょうろ掛け
（ヒノキ）

ブックラック
（ヒノキ）

掲示ボード

空間製作

装飾壁
（ワークショップ）

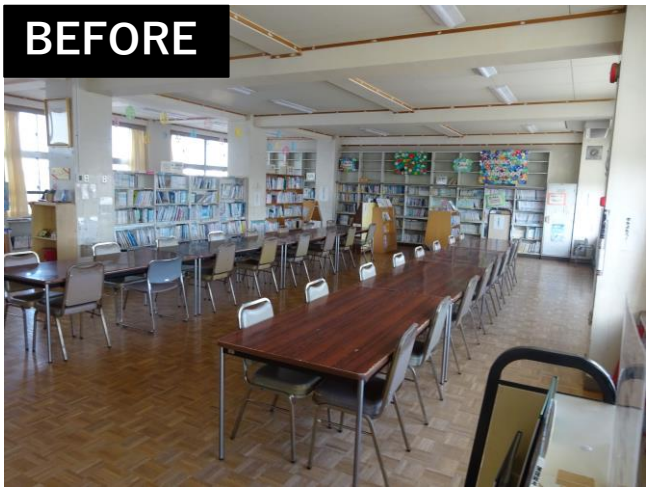
まなびパネル
（ヒノキ）

教室サイン

図書室

ヒノキが香り、リラックスできる読書空間へ

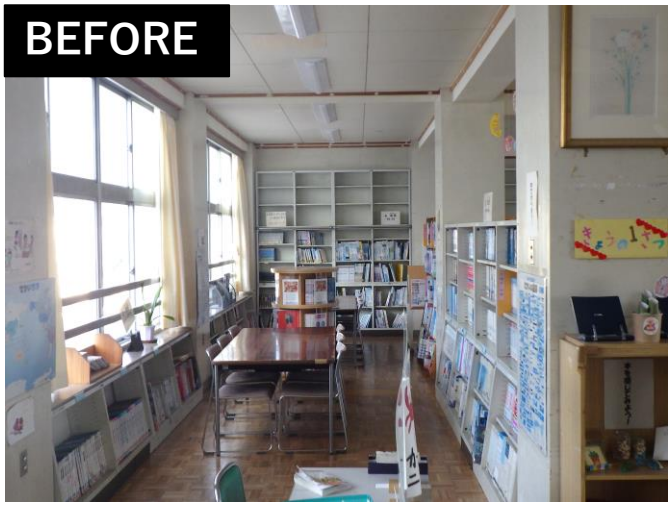
柱縦板張り / 壁横板張り / ヒノキ梁 / 机 / スツール / ブックラック / 掲示ボード / まなびパネル

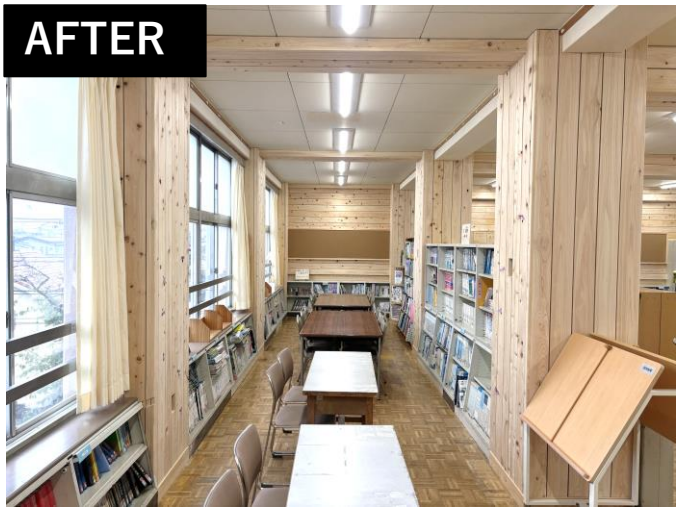


町田小学校は本を読むことが好きな子どもが多く、昼休みには図書室が多くの子どもで賑わう。

図書室に使用した材は全てヒノキ。
ヒノキ特有の香りを感じながらリラックスして、読書ができる大人気の明るい空間になった。

図書カウンター / ヒノキ舞台 / 引き戸 / 壁装飾張り

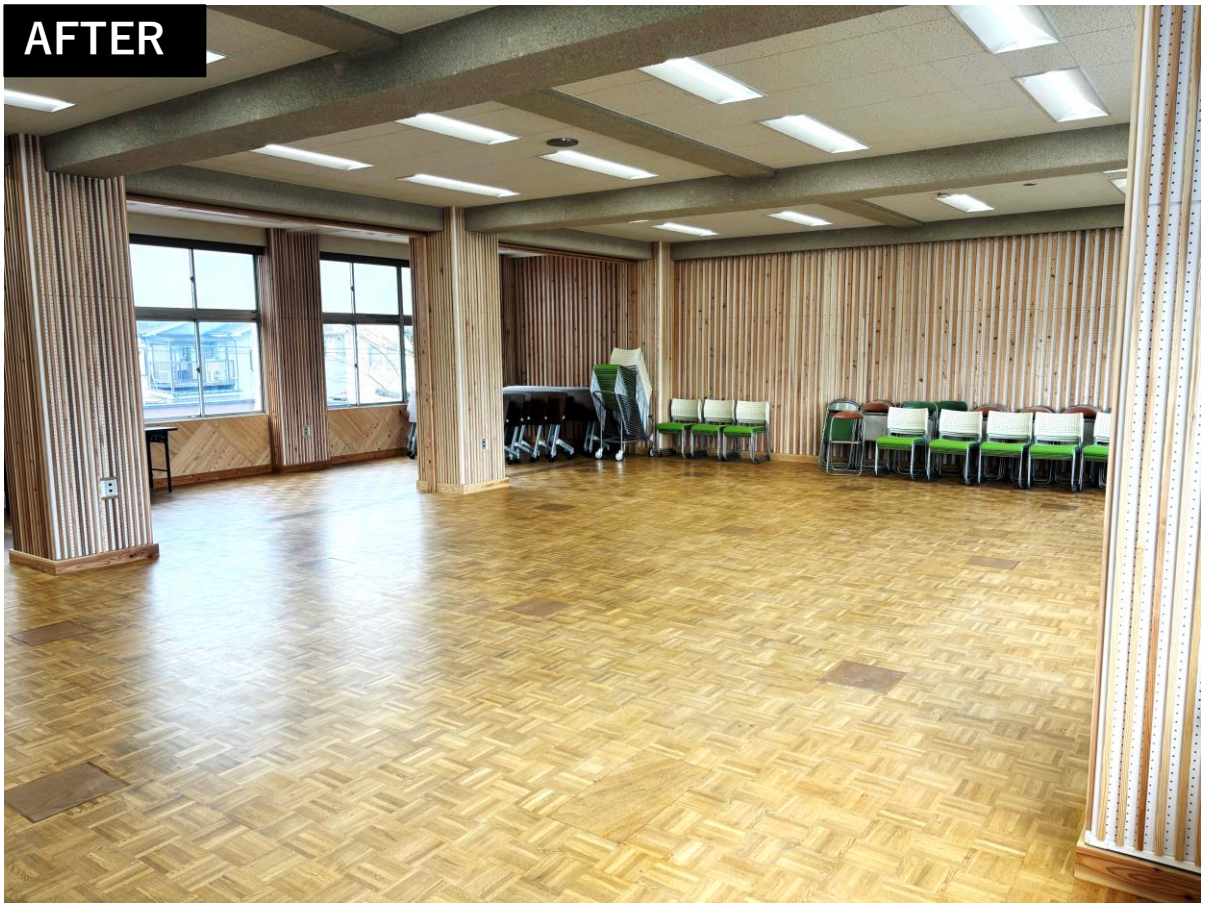




図書室

ふれあいルーム

木質化にあわせ、壁を撤去することで多目的利用ができる大空間へ



柱・壁ルーバー　/　斜め板張り　/　床材磨き上げ /　間仕切壁撤去

パソコン室だった名残から、床からコンセントが突出しており、また、準備室との壁により、使い勝手が悪い空間だった。

旧パソコン準備室との壁を撤去し使用範囲を拡大することで、地域の打ち合わせや学年集会など大人数での利用もしやすく、また、全方面をスギのルーバーで囲うことで、スギの赤みが感じられる大空間となった。

（右写真）
既存のカーペットを剝がし、
フローリングの磨き上げを行うことで
床にも木をあらわしている。

ふれあいルーム

普通教室

スギの色味により、クラスごとに印象が異なる木の学習空間へ

スギ梁　/　腰壁板張り　/　柱縦板張り　/　巾木

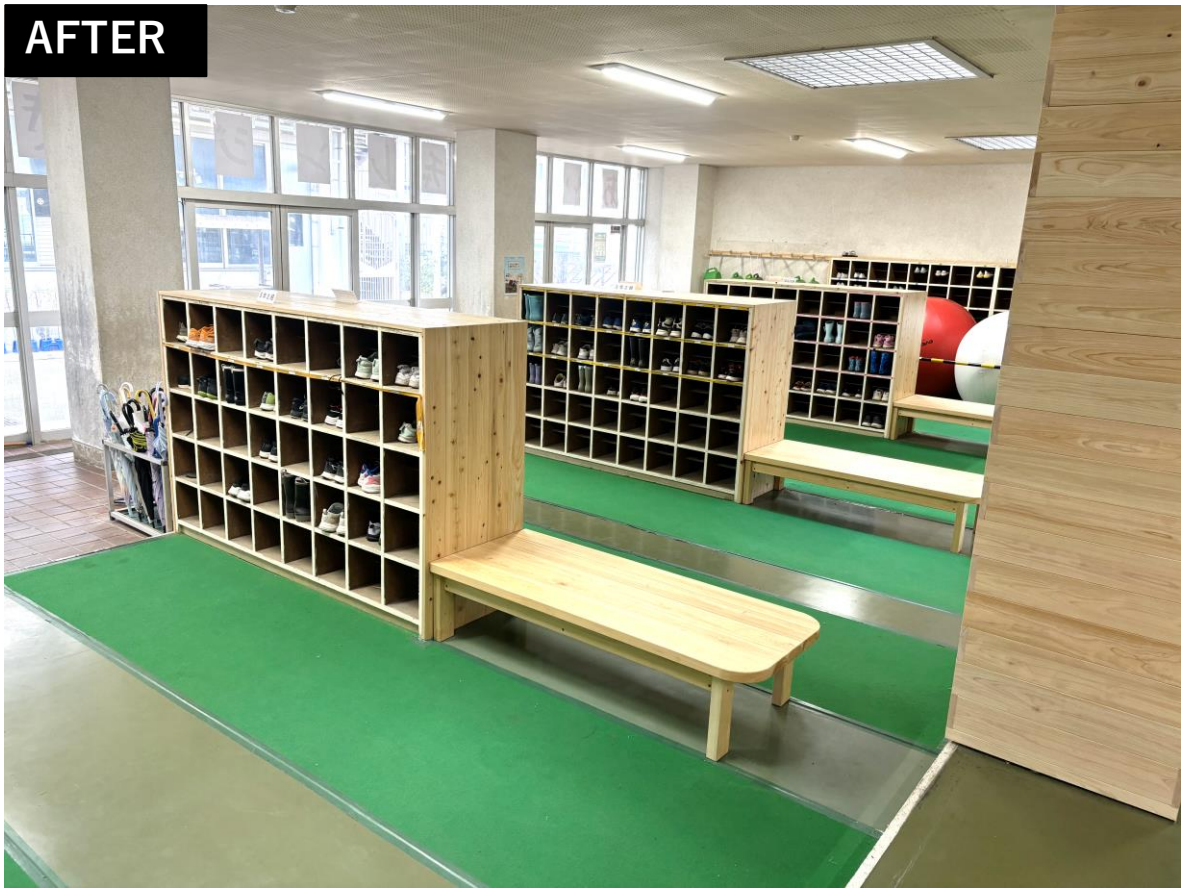
（上写真）
教室によって、スギの赤みや白太を使い分けて、雰囲気の違いを演出

梁に小田原産木材を初めて使用。より太い梁を木質化することにより、滞在時間が長い教室に木の存在感を示す施工方法となった。

普通教室

昇降口

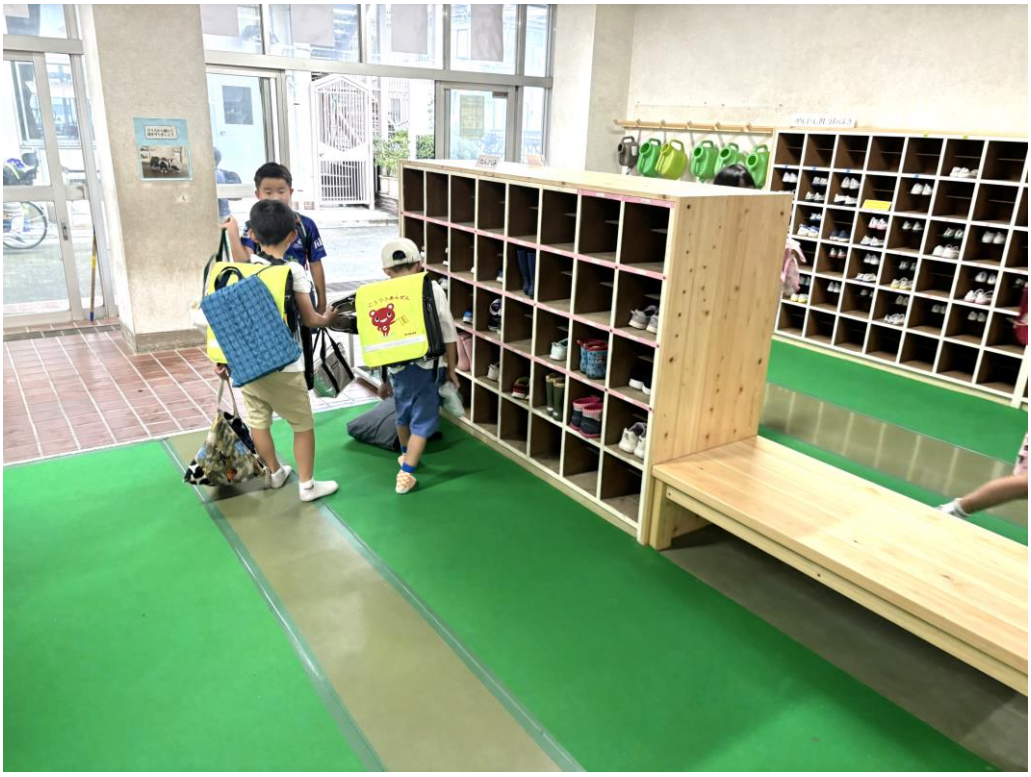
靴箱を木質化し、ベンチを設置することで、開放感ある挨拶の場へ



柱横板張り ／ 靴箱板張り ／ 幅広ベンチ ／ じょうろ掛け

低学年の児童は下駄箱に背丈が隠れてしまっていたが、段数を削減し、余分な下駄箱を撤去、ベンチを設置することで、視界がひらけ児童同士が顔を合わせて挨拶ができる空間になった。

昇降口

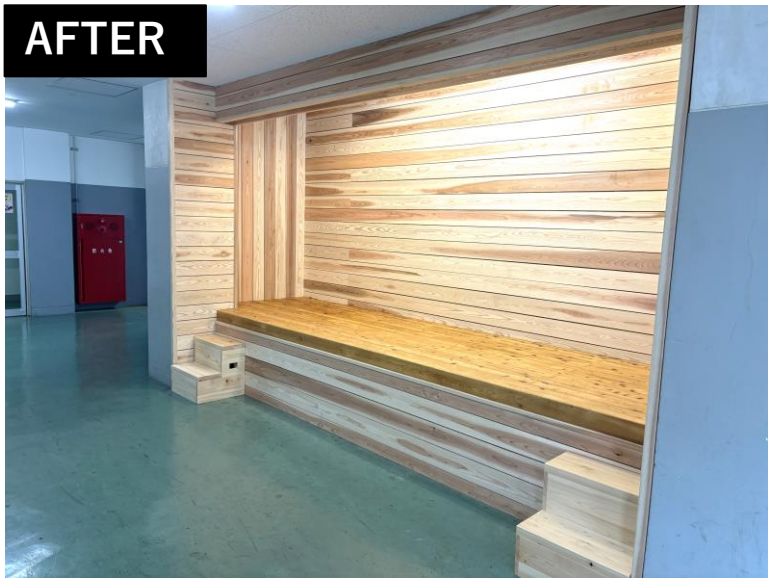


渡り廊下・スペース

無機質な空間に木を添えることで学年間のふれあいの場へ

ベンチ / ブックラック / スギ板張り / 昇降台 / 床磨き上げ

未利用スペースだった場所に木製品を取り入れることで、無機質な空間が児童の声が聞こえる新たな居場所になりました。



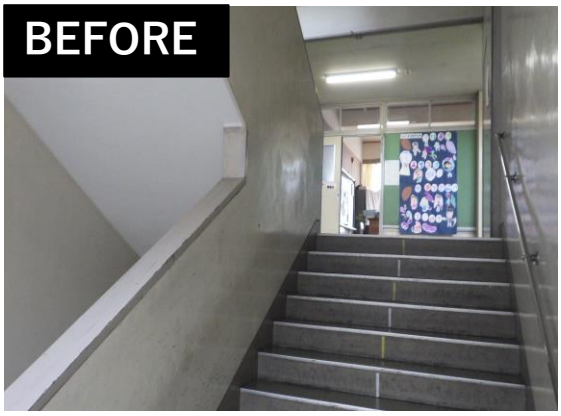
安全性を考慮した
ヒノキの昇降台

物置として使われていたスペースを木質化し、照明を設置することで、児童の作品展示や休憩する場など多目的利用できる空間に生まれ変わりました。
暗い印象の北棟に暖かみを添えてくれます。

階段

来校者にも小田原のヒノキを感じてもらう場へ

ヒノキ目透し張り / 掲示ボード / 装飾壁



児童や来校者がよく使う東階段を木質化することで、より多くの方に木の温もりを与えます。

（右写真）
木質化の端材は児童の手により、インテリアの装飾壁に大変身。通るたびに木質化の思い出が蘇ります。

まなびパネル・室名サイン

ヒノキ板張り / レーザー加工 / 装飾壁

30cm幅のヒノキの無垢材を使用。森の働きや間伐の必要性が学べます。図書室に設置。

↑図書室のヒノキ舞台がモチーフのイラスト

寄木 / ろくろ / 漆

地元の若手工芸師による教室の木製サイン。寄木細工や木象嵌、ろくろ等伝統工法の魅力あふれる作品は校内に彩りを添えており、児童や教員からも大好評です。

端材を使ったワークショップ

木質化後に出た端材も無駄にせず、子どもの手で新たな作品に。
地元の大工さんとも相談しながら、木材を貼り付けていきます。

森林のはたらきや木の魅力を説明し、木質化の感想を聞きながらワークショップを進めます。児童からは「綺麗になった！、良い香り！」という声が多数聞こえます。
完成したものは東階段に設置。世界で一つ、思い出の作品になりました。

端材ワークショップ

ＰＴＡ等との連携

11月に開催したPTAのイベントでは、木質化の端材を活用し、保護者と児童でストラップなどを作製。

６年生は、本立てを製作し、卒業記念製作になりました。

また、スクールボランティアさんのご協力により、
木の空間に遊び心を添えていただきました。

町田小学校が木質化されるまで

木質化で使用する小田原産木材は令和５年度から調達。原木の伐採、一次製材、乾燥をした後、二次製材を行い施工しました。設計内容については繰り返し学校と協議を重ね、地域の方々（自治会、PTA、学校運営協議会など）へ事業説明を行い、木質化への合意形成を図りました。

木材生産

伐採・運搬

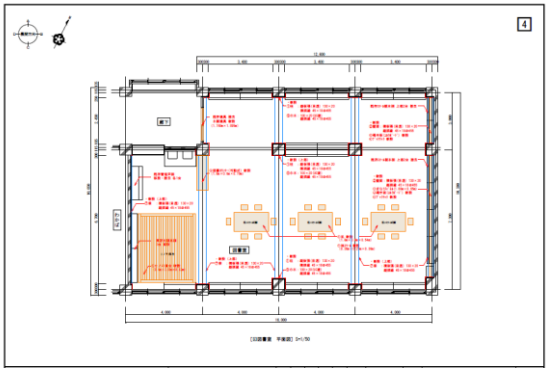
一次製材

乾燥・二次製材

設計

パース図作成

地域説明会・学校との協議



積算・実施設計

施工

資材搬入

下地、板張り工事・什器製作

竣工

小田原市農政課